



人生に関わる

やりがいのある仕事

鑑識課 指紋資料係
平成23年採用 主任
北九州市立大学 卒業

警察行政職員になったきっかけを教えてください。

大学で様々な判例を学び、「悪事を許せない」という想いが強くなり、さらに進路で迷っていた時、父から背中を押され、警察官採用試験を受験しました。結果は不合格でしたが、福岡県警察ホームページで「警察行政職員」の募集を知り、受験しました。合格通知をいただいた時は、辞退して再度警察官採用試験を受けるか迷いましたが、私は人をサポートする方が向いていると思い、警察行政職員になることを決めました。

印象に残ったエピソードを教えてください。

現在、私は身元不明のご遺体の指紋から犯歴の有無を調べたり、顔や身体の特徴、服装等から行方不明者届と一致するものがないかを調べて、身元を割り出す業務を主に担当しています。ある女性が急死し、身元が判明しない事案が発生した際、特徴的な手術痕と顔の特徴から3年前に届けられていた1件の行方不明者届に辿り着きました。DNA鑑定の結果、その行方不明者とご遺体が同一人物だと確認がとれました。その後、身元が判明した際の親族の様子を知る機会があったのですが、女性が行方不明に至るまでには、複雑な事情があり、親族の心境もまた複雑なものでした。しかし、女性が亡くなるまでの経緯や想い、家族の今後を想像すると、最後に家族の元に帰してあげられてよかったと思いました。この一件で、自分の業務が人の人生に大きく関わるものであり、やりがい大きい分、責任も重いということを感じました。

現在の職場環境について教えてください！

鑑識課は、長く在籍している職員や異動を経て再度鑑識課で勤務する職員が多いため、アットホームな職場で、和やかな雰囲気です。また、仕事をやるうえでは、一人で悩むようなことはなく、みんなで知恵を出し合い、協力しながら仕事をしています。事案が発生すれば残業をしたり、呼び出しを受けることもありますが、プライベートな時間はしっかりと確保できているので、メリハリをつけて仕事をすることができます。

警察行政職員を目指す方にメッセージをお願いします。

警察行政職員の業務は、鑑識課のように捜査に関わるような業務もあれば、落とし物の窓口業務のように直接県民と接する業務や、警察組織の運営に関わる企画業務まで様々であることから、自分の能力を活かせる仕事が見つけれられると思います。また、どの業務も、直接的に、あるいは間接的に、県民の安全・安心を守ることに繋がっています。自分の能力を活かし、人の役に立つ仕事ができることほどやりがいを感じられることはありません。仕事を選ぶ上で、やりがいを一番に重視したい方は、是非、福岡県警察の職員を目指してほしいです。